

## 提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : 第4期芸術文化振興ビジョン(案)  
 意見募集期間 : 令和8年1月8日～令和8年1月28日  
 意見等の提出件数 : 23件(8人)

	項目等	意見等の概要	県の考え方
1	各主体の役割	各取組の実施主体が曖昧な表現が多いと思う。まずは「県の責務」または「県の役割」を明記する必要があるのでは。	<b>【ご意見をビジョンへ反映】</b> 「芸術文化における各主体の役割」の中で、県の役割についても記載しておりましたが、ビジョンにおける基本的な事項であるため、P.7へ移動することとしました。
2	取り巻く環境の変化	アフター万博についての取組はよいと思う。取組が無ければ神戸空港は使われなくなる。	<b>【本文の趣旨に一致】</b> ビジョン(案)P.13に記載のとおり万博・フィールドパビリオン等の取組を一過性のものとせず、神戸空港の国際化によるインバウンド増加を好機とし、文化観光の推進による国内外からの誘客促進に繋げていきます。
3	1 芸術文化を創造・発信する (1)芸術文化を担い、育て、つなげる人材を育成する	P.19 高校生部活動等の練習や発表の場の充実(アートで躍動Z世代文化部応援プロジェクト)について、補助金交付申請書等の手続きを、もう少し簡略化していただければ、講師を希望する音楽家もさらに増えるのではないかと考える。	<b>【今後の取組の参考】</b> 県では、補助金を含む行政手続について、電子申請の導入や押印廃止など、簡素化に取り組んでいるところです。ご意見を踏まえ、申請手続等について、より丁寧で分かりやすい案内に努めます。
4	1 芸術文化を創造・発信する (1)芸術文化を担い、育て、繋げる人材を育成する	P.19 今年度も高校生文化部フェスが継続されていることは喜ばしい。これまでの取組み結果も踏まえ、裾野が広がっていくよう行政の支援を期待する。その際、部活動地域展開もあることから、教育委員会とより一層情報共有・連携することが大切だと考える。	<b>【今後の取組の参考】</b> 第4期ビジョンでは、ご意見のあった高校生文化部フェスをはじめ若者世代の活動支援や、子どもたちへの芸術文化体験機会の充実に重点的に取り組んでいきます。 また、部活動地域展開については、主体は市町にはなりますが、県教育委員会が主催する兵庫県部活動地域移行推進委員会に参画しながら適切に対応していきます。
5	1 芸術文化を創造・発信する (1)芸術文化を担い、育て、繋げる人材を育成する	社会教育人材の確保について、社会教育主事を登録・紹介するデータベースが必要ではないかと考える。 また、新しい制度である社会教育士の制度整備も必要ではないかと考える。	<b>【今後の取組の参考】</b> 社会教育士有資格者のメーリングリストの作成・活用、県HPでの社会教育主事講習や県主催の研修会の情報発信等、社会教育人材ネットワークの構築に向け、今後の取組の参考とさせていただきます。

6	<p>1 芸術文化を創造・発信する (1)芸術文化を担い、育て、つなげる人材を育成する</p>	<p>日本画が芸術における伝統文化として十分に認識されていない。昨年実施したような、合同練習会のワークショップなどがまた開催できればいいと思う。</p>	<p><b>【今後の取組の参考】</b> P. 21「アートで躍動 Z 世代文化部応援プロジェクト」の一環として高校文化部の活動を支援する「合同練習会」では、令和 7 年度に対象分野として日本画を含めて実施しました。参加した生徒からは、「日本画の画材を使用した貴重な体験ができた」と好評をいただいております。今後も、日本画をはじめとする伝統文化の魅力を次世代に伝えるため、普及啓発に継続して取り組んでいきます。</p>
7	<p>1 芸術文化を創造・発信する (1)芸術文化を担い、育て、繋げる人材を育成する 4 みんなで支え、総合的に取り組む (2)県民、団体、企業、行政等の各主体の連携体制を強化する</p>	<p>芸術分野においても、大学進学等をきっかけに県外に出る若者が多くなっている。県として、そのような学生が兵庫県で活動できる場を設けるとともに、学生にその取組を周知・提案できる仕組みがあればよいと思う。</p>	<p><b>【今後の取組の参考】</b> 県では、新進・若手芸術家への支援として、アマチュア芸術家の登竜門である P. 21「県展 (H/ART)」や P. 19「アーティストサロン事業」(特別展、交流展、サロン内展覧会)を実施しており、県展については、近隣府県の美術学科を有する大学等にも案内を送付しています。また、県内の美術愛好家に発表の機会を提供する「兵庫ふれあい美術展」も開催しています。ご提案のあった、若者が県内で活動できる場の拡充や、学生への周知の仕組みづくりについては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>1 芸術文化を創造・発信する (2)芸術文化の拠点機能を高める</p>	<p>将来的には、豊岡芸術祭のような地域の芸術祭を集め、ひょうごプレミアム芸術デーとの連携も視野に入れ、瀬戸内芸術祭(静的な祭)に対抗・連携するような全県的な芸術祭(動的な祭)に進化させられるよう、プラットフォーム化し、スポンサー獲得なども含め、まずは小さい規模からスタート出来たらおもしろいと思う。</p>	<p><b>【今後の取組の参考】</b> P. 23 ひょうごプレミアム芸術デーの参加施設は年々増加しており、各施設で多彩なイベント等も実施されています。ご意見を参考に、参加施設のネットワーク構築や、企業協賛の獲得などに取り組んでいきます。</p>
9	<p>1 芸術文化を創造・発信する (2)芸術文化の拠点機能を高める</p>	<p>芸術文化センターは、兵庫県が全国に誇れる芸術文化立県兵庫の象徴であると思う。 施設は今後、老朽化してくるので、独立採算的な運営組織やスポンサー獲得手法も視野に入れ、より一層の取組の充実に向け、手を打っていく必要があると思う。 ソフト面では、開館 20 周年記念の定期演奏会での第九合唱団の募集を継続し、将来的にはセンター合唱団をプールするなど、参加型の取組の拡大と地域への波及を検討し、ファン拡大等につなげていければと良いと思う。</p>	<p><b>【本文の趣旨に一致】</b> P. 24 今年度、芸術文化センターのさらなる持続・発展に向けたあり方検討を実施し、スポンサー獲得等は、重要な課題として、その獲得に努めることとしています。施設の老朽化は、多くの県立施設でも課題となっており、計画的に取り組んでいきたいと考えます。 また、定期演奏会に参加いただいている合唱団は、公演の都度、オーディションで参加者を決定していますが、いただいたご意見を参考に、センターで新規ファンの獲得に向けた事業展開の充実に努めます。</p>

10	<b>2 芸術文化の“場”を育て拡げる</b> <b>(1)地域で多様な“場”を育て拡げる</b>	<p>重点1の「若者世代の活動支援と担い手育成」は、すばらしい取組であり、共感する。</p> <p>一方で、シニア世代の活動支援にも力を入れてもらいたい。このような方々は、地域に根付き、意欲も高い。</p> <p>会員として登録した多彩な分野のシニア世代の芸術家が、福祉施設、病院、幼稚園・保育園などを訪問し活動などを行い、県民が芸術文化に触れたり、交流できる場を設ける取組を提案する。</p>	<p><b>【本文の趣旨に一致】</b></p> <p>第4期ビジョンでは、若者世代への支援を重点項目に設定していますが、高齢者等への取組も引き続き推進していくこととしています。</p> <p>具体的にはP.27④に記載の県民や芸術文化団体の活動に対する支援等を通じて、さまざまな世代の活動支援を推進していきます。</p> <p>また、P28の展開方向に記載のとおり「世代間の交流という視点」を持ち合わせた取組を進めていきます。</p>
11	<b>2 技術文化の“場”を育て拡げる</b> <b>(1)地域で多様な“場”を育て拡げる</b>	<p>県は広域にまたがるが、どうしても県中心部（JR神戸線沿線など）に活動が集中している気がする。県北部や淡路島などでの発表の場を増やしてほしい。例えば、ふれあい美術展において、以前は各地域で搬入場所があったのが現在は原田の森ギャラリーのみになっている。</p>	<p><b>【今後の取組の参考】</b></p> <p>第4期ビジョンでは芸術文化活動に関する地域偏在の是正を重点取組の一つに設定しており、県内各地域で発表の機会を広げていくため、引き続き、市町や文化団体等と連携し、県内における巡回展実施など、地域における発表の場の拡充に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、「兵庫ふれあい美術展」の搬入場所については、県内文化会館の指定管理者の公募開始に伴い、各地域での搬入から、直接搬入又は事務局指定業者による搬入に変更されたものです。ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。</p>
12	<b>2 芸術文化の“場”を育て拡げる</b> <b>(1)地域で多様な“場”を育て拡げる</b>	<p>団体の高齢化が進んでいると聞いており、公益芸術団体に入ることに何か補助があれば嬉しい。</p> <p>次世代に繋ぐためにも若者が参加しなくなるような提案が生まれることを期待します。</p>	<p><b>【今後の取組の参考】</b></p> <p>部活動地域展開を踏まえ、芸術文化のリアルな体験機会をより多く提供するため、対象分野を芸術文化全般に拡充してまいります。</p> <p>こうした取組を継続することで、次世代の担い手育成や、若者が芸術団体に参加しやすい環境づくりにつながるものと考えております。</p>
13	<b>2 芸術文化の“場”を育て拡げる</b> <b>(3)青少年が本物の芸術に親しむ</b>	<p>「いけばな」など身近な生活文化は、他の分野以上に、体験することが重要な分野である。伝統文化体験わくわく教室などを通じて、子どもに体験してもらうことがきっかけとなり、裾野が広がり、ひいては後継者の育成にも繋がっていくことを経験してきた。</p> <p>次期ビジョンにおいても、体験機会を充実させるという方向で進めてもらいたい。</p>	<p><b>【本文の趣旨に一致】</b></p> <p>P.17 成果指標の検証において、特に若者世代で芸術文化活動を自ら行った割合が低くなっており、ご意見のとおり、生活文化も含めて自ら芸術文化活動を行うきっかけづくりが重要であると考えており、P.18 重点取組1「若者世代の活動支援と担い手育成」として、重点的に取組を推進していくこととしています。</p>

14	2 芸術文化の“場”を育て広げる (3) 青少年が本物の芸術に親しむ	(芸術文化分野の体制整備) P. 31 現在の部活動地域展開は、市町から各芸術家への協力依頼が基本となっているが、芸術分野は、スポーツのような組織で動かず、芸術家個人を基本としており、組織的な対応が難しい。いけばな協会のような芸術文化団体が間に入ることで、情報の一元化も含め、よりスムーズな展開が可能となるのではないかと考える。	<b>【今後の取組の参考】</b> 県では、教育委員会を中心に、部活動地域展開の本格化に向けて、各市町が抱える課題に対応するための支援体制の構築を検討しております。ご指摘いただいた、芸術家を束ねる文化団体の関与など、芸術文化分野における体制整備につきましても、今後、必要に応じて検討していくこととしています。
15	2 芸術文化の“場”を育て広げる (3) 青少年が本物の芸術に親しむ	(格差が拡大しないような配慮) 部活動地域展開により、さらなる地域格差や、個人のおかれている環境によって格差が生じるようなことがあってはならない。「中学校の部活動を移行する」という概念を少し広げ、学童保育の充実など、子ども向けの施策全般で考えていく必要があるのではないかと考える。	<b>【本文の趣旨に一致】</b> P. 31 に記載のとおり、部活動地域展開を契機として、教育委員会を中心に、地域における子ども・若者の芸術文化活動を、様々なチャンネルを通じて充実させていくこととしております。ご指摘いただいた、学童保育の充実につきましても、格差の解消に繋がる取組であり、これらのチャンネルの一つに含まれるものと考えられます。
16	2 芸術文化の“場”を育て広げる (3) 青少年が本物の芸術文化に親しむ	P. 31 部活動地域展開への取組が薄く感じる。この世代の経験は重要であるため、市町との連携も必要だが、地域文化団体の協力も得て、県としての対応をもう少し踏み込んではどうか。例えば、文化振興基金や地域振興基金を財源として1団体5万円の助成金を100団体対象としても500万円で済むと思う。	<b>【ご意見をビジョンに反映】</b> 意見を踏まえ、P. 31 の展開方向の記述を部活動地域展開への対応がより前面に出よう修正したほか、若者・子ども世代への体験機会提供の取組についてコラム P. 32 を追加しました。 具体の取組でも、令和8年度からプレミアム芸術デーにおける体験イベントの実施や、小中高生らが伝統文化以外の芸術文化を体験できる機会の提供など若者の体験機会の強化に重点的に取り組んでいきます。 また、ご指摘の地域文化団体との連携や財政面を含む支援の在り方につきましても、今後、必要に応じて検討してまいります。
17	3 文化力を高め、地域づくりに活かす (1) 芸術文化資源の掘り起こしとシビックプライドの醸成	尼崎で実施している薪能や狂言について記載すべき。	<b>【本文の趣旨に一致】</b> ご意見いただいた内容について、県や外郭団体、市町が実施する全ての事業名をビジョン(案)に記載しているものではありません。ご意見いただいた取組も、ビジョン(案)P. 34～35 に記載の「芸術文化資源の掘り起こしとシビックプライドの醸成」に該当するような取組であると認識しております。
18	3 文化力を高め、地域づくりに活かす (1) 芸術文化資源の掘り起こしとシビックプライドの醸成 (2) 地域資源を活用した地域の元気づく	ひょうご 21 世紀機構で行われている「ひょうご講座」は芸術文化振興ビジョンが対象とする取組には入らないのか。 非常にレベルの高い講座で、今後も継続していただきたい。	<b>【本文の趣旨に一致】</b> 「ひょうご講座」は、全国から招いた著名な講師陣のもと、防災・復興や社会・地域、データサイエンスなど幅広い講座を展開しています。講座の継続等のご意見は所管課へお伝えさせていただきます。

	りの推進		本講座には、ビジョン（案）P. 35の「地域の文化・歴史に関するシンポジウムや講座、イベント等の開催」などに該当する内容も含まれていますが、県や外郭団体が実施する全ての事業名をビジョン（案）に記載しているものではありません。
19	3 文化力を高め、地域づくりに活かす (2)地域資源を活用した地域の元気づくりの推進 2 芸術文化の“場”を育て拡げる (2)芸術文化による共生社会の実現	ひょうごプレミアム芸術デーが年々裾野を広げ継続されていることは喜ばしい。今後は、県が行っているふれあい文化の祭典などの従来からの取組や市町の取組と、加古川のオンザヒル・元町のコトコトなどの新しい取組・場を繋ぐような取組を期待する。 特に、高齢者の支援も担える若い芸術家などを巻き込むことができればおもしろいと思う。	【今後の取組の参考】 P. 37 既存の取組と新たな取組との組み合わせや、異なる分野の組み合わせの重要性については、検討委員会においても多くの意見が出ており、いただいたご意見も参考に、今後の展開を検討していきます。 また、高校生文化部フェスをはじめ若者世代の芸術文化活動の促進に取り組むとともに、従来から実施しているふれあい文化の祭典等において若者世代が参加しやすい環境づくりを進め幅広い世代が交流できる環境づくりに取り組んでいきます。
20	3 文化力を高め、地域づくりに活かす (2)地域資源を活用した地域の元気づくりの推進	P. 37 豊岡演劇祭は、演劇と観光を通じて「ヒト・モノ・カネ」が動くことで地域の活性化に資する好例となっている。さらなる取り組みとして、例えば、芸術文化センターのオペラ公演後に但馬でアンダーキャストによる上演などが出来れば、若手の発表の場や地域の活性化につながるのではないかと考えています。	【今後の取組の参考】 ご意見のとおり豊岡演劇祭は地域活性化の好例と考えています。 芸術文化センタープロデュースオペラについては、例年4月～5月頃に県内各地（今年度はやぶ市民交流広場など9カ所で開催）で、関西で活躍するオペラ歌手が歌い演じる「ハイライトコンサート」を行っているところですが、ご意見を踏まえ取組を進めることで、観光・地域活性化に繋げていきたいと考えています。
21	3 文化力を高め、地域づくりに活かす (2)地域資源を活かした地域の元気づくりの推進	大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭等で日本の文化に関心を高めたことは大きな意義と考え、一過性に終わらず継続させてもらいたい。 とりわけ、地理的に大阪・京都と近接する阪神間の有形・無形の文化資源について、海外からの来訪者に「少しでも関心を持ってもらう」という取組を継続してもらいたい。	【今後の取組の参考】 P. 38 地域の文化資源について、県では、万博を契機としたインバウンド需要を一過性のものとしなないため、兵庫・香川連携によるコンテンツ・ツアー造成や、瀬戸内芸術祭と連動した近隣府県との協調事業などを実施していきます。 また、関西広域連合とともに国内外へ魅力の発信を行い、周遊促進や共同プロモーションによる認知度の向上を図っていきます。
22	3 文化力を高め、地域づくりに活かす (2)地域資源を活用した地域の元気づくりの推進	丹波焼の里は、従前から今田薬師温泉とお洒落なカフェなどが集積する魅力的な地域になっており、近年、案内のデジタル化、陶の郷のリニューアルなど丹波篠山市と連携した取組が実現されるとともに、それぞれの窯元（陶芸組合）と陶芸美術館の連携などが図られるようになり、最古の登窯復興も目玉事業に進化するなど、より一層の活性化が図られている。将来的には、例えば、陶芸美	【今後の取組の参考】 令和5年度に兵庫陶芸美術館も共同申請者となって文化観光拠点計画の認定を受けた「丹波焼の郷」は、フィールドパビリオンとしてのPRやオーディオガイドの導入、陶工の営みに触れる1泊2日の旅「陶泊」、最古の登窯で焼成した茶器を用いた茶会を組合と共催するなど、地域一体となった様々な誘客策を実施しています。

		<p>術館発のワインや日本酒販売などを手掛けるなど、関係者の連携を高め、観光の売り出しにもなるインパクトのある県主体の取組を仕込んでいくのもおもしろいと思う。</p>	<p>今後ご意見を参考に、P. 37～38ICTの活用や、観光資源の開発・活用など、地域一体となった様々な誘客手法を検討していきます。</p>
23	<p>コラム「芸術文化センターのあり方」～さらなる20年の持続・発展に向けて～</p>	<p>P. 24 公演料の値上げの表現について、公演料が何を指すのかが不明瞭である。チケット料金・使用料・外部出演料など、具体的に記載すべき。</p>	<p><b>【ご意見をビジョンへ反映】</b> ご意見を踏まえ、P24の表現を「チケット代の値上げ」に修正しました。</p>